

脳脊髄液中のJCウイルス(JCV)の検査支援による 進行性多巣性白質脳症(PML)のサーベイランス

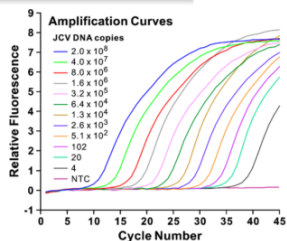
研究分担者: 国立感染症研究所ウイルス第一部 西條政幸

進行性多巣性白質脳症(PML)とJCウイルス(JCV)



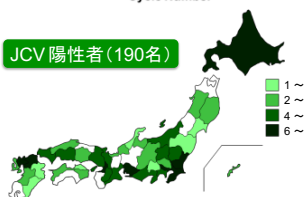
診断

神経学的所見 脳MRI
脳生検(免疫組織化学, PCRなど)
脳脊髄液JCV-PCR

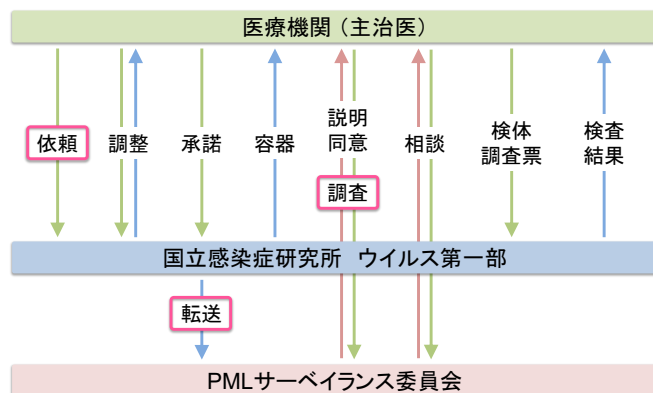


実験室サーベイランス

医療機関への検査支援
(2007年から1,784件)
患者情報のデータベース解析
超高感度PCR検査(2016年~)



PML疑い症例の登録(脳脊髄液JCV検査)

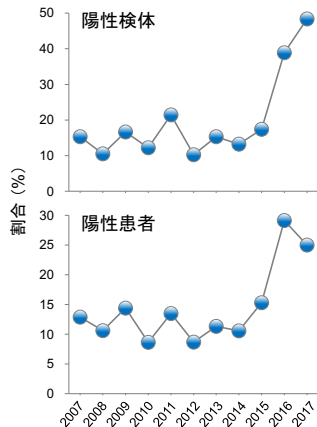
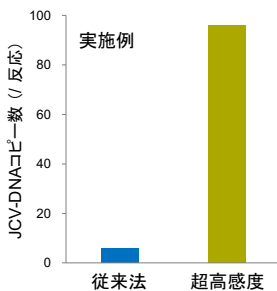


脳脊髄液JCVを標的とした超高感度PCR検査



PCR検査の検出下限値

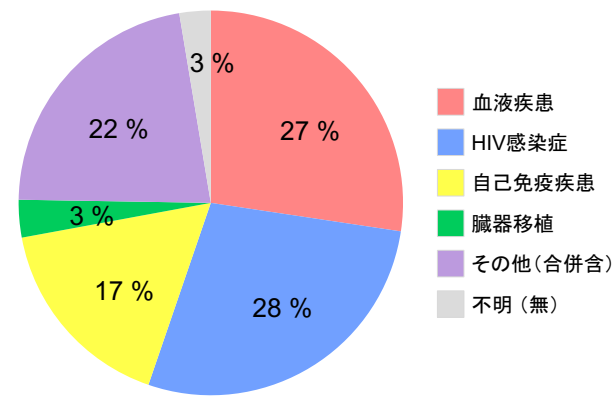
従来法 200 コピー/mL
超高感度 10 コピー/mL



脳脊髄液JCV陽性者の基礎疾患(2007~2017年)



190名(年齢中央値58歳 男性63.2%)



解説

1. 医療機関から進行性多巣性白質脳症(PML)の診療のための脳脊髄液中JCウイルス(JCV)のPCR検査を受け付け、PMLサーベイランスを継続した。平成19~29年度においてPML疑い患者1,434名の検査(1,784件)を実施し、うち190名が陽性を呈した。
2. 実験室サーベイランスにおいて、平成28年度より脳脊髄液中JCVの超高感度PCR検査(検出下限値10コピー/mL)を採用したところ、陽性検体および陽性患者の割合が増加した。